

令和4年度 北海道教育功績者表彰被表彰者

No. 1

所属・職名 氏年 名 齢	主な役職歴	在職 年数	功績の内容
北海道 岩見沢農業高等学校 校長  かまた かずひろ 鎌田 一宏 (59歳)	全国農業高等学校長 協会 副理事  北海道高等学校長協 会農業部会 会長  北海道産業教育振興 会 理事長	高等学校教諭 12.00 高校教育課指導主事 (文科省派遣) 1.00 高校教育課指導主事 6.00 高等学校教頭 3.00 高等学校長 15.06  計 37.06	平成元年採用以来、本道の農業教育や教育行政に携わり、農業試験場やJA、普及センター等の機関や地域の農家と包括的に連携しながら、栽培技術や経営力の向上を図るとともに、企業や地方公共団体等と連携し、農業後継者や農業関連産業人の育成に尽力した。特に園芸作物の栽培技術に秀でており、本道農業技術指導の礎を築いている。 また、文部科学省への出向を機に、北海道農業教育における国際的視野の必要性を浸透させ、GAPやHACCPの取組、日仏農業教育連携事業、スマート農業や気候変動に対応できる栽培方法などの持続可能な農業といった、未来を見据えたグローバルな教育実践を切り拓いたその実績は高く評価されている。 さらに、全国農業高等学校長協会副理事長や北海道高等学校長協会農業部会会長等の要職を務めるなど、本道の教育振興に貢献した功績は誠に大である。
北海道 真駒内養護学校校長  かんばやし ひろふみ 上林 宏文 (60歳)	全国特別支援学校肢 体不自由教育校長会 理事  北海道特別支援学校 長会 副会長  北海道特別支援学校 長会肢体不自由・病 弱教育校長会 会長	特別支援学校教諭 13.00 北海道立特殊教育センター 研究員、教育課肢体不自由 ・病弱教育室長 3.00 小・中学校特殊教育課指導 主事 1.00 学校教育指導主事・主査 1.02 特別支援教育課主査・主幹 5.10 特別支援学校長 6.06 教育指導監 3.00  計 33.06	平成元年採用以来、本道の特別支援教育及び教育行政に携わり、肢体不自由教育において、障がいの重度化、多様化する現状に応じた実践研究等を行い、その成果を児童生徒の指導に生かすとともに、広く発信した。 また、学校教育局特別支援教育課主査及び主幹として、特別支援学校の医療的ケア体制の整備や教育課程の充実のため、「特別支援教育に関する基本方針」の策定をしたほか、教育指導監として、カリキュラム・マネジメントや働き方改革などの学校経営課題に対する指導に尽力し、全道の特別支援学校の充実・発展に貢献した。 このほか、七飯養護学校で地域の特別支援教育のセンター的機能の充実のため、地域連携部を立ち上げるなど、歴任校において、安心・安全に学ぶことができる校内体制の充実や授業改善に取り組んだ。 さらに、全国特別支援学校肢体不自由教育校長会理事や北海道特別支援学校肢体不自由・病弱教育校長会会長等の要職を務めるなど、本道の教育振興に貢献した功績は誠に大である。
北海道 余市養護学校校長  つじやま 辻山 しのぶ (59歳)	北海道特別支援学校 長会 事務局次長  北海道知的障害教育 校長会 副会長	特別支援学校教諭 26.00 特別支援学校教頭 3.00 特別支援学校長 3.06  計 32.06	平成3年採用以来、本道の特別支援教育に携わり、児童生徒一人一人の障がいの状態等に応じた教育の実践や教員の指導力向上に尽力した。視覚支援学校の専門性の向上や教科指導の充実を図るため、現在の全道に及ぶ視覚障がい特別支援学校のネットワーク体制の礎を構築した。 また、ジアース教育新社「思考力・判断力・表現力を育む授業（肢体不自由教育実践授業力向上シリーズNo.5）」など各種文献の共著・編著により、高次脳機能障害のある生徒に必要な教育課程の在り方を掲載するなど、全道、全国へ取組事例を発信するとともに、校長として、絶えず変化する状況下においても時代に即した障がいのある児童生徒の最適な学びの場の構築に努めた。 さらに、北海道特別支援学校校長会事務局次長の要職を務めるなど、本道の特別支援教育の振興に貢献した功績は誠に大である。

所属・職名 氏年 名 齢	主な役職歴	在職 年数	功績の内容
知内町立 知内小学校長  いけだ かつみ 池田 克己 (60歳)	北海道小学校長会 副会長  渡島小中学校長会 会長  北海道生活科・総合的 な学習教育連盟 副委員長  北海道国際理解教育研 究協議会 副会長  渡島・函館国際理解教 育研究会 会長	小学校教諭 (海外日本 人学校教諭会) 20.11  小学校教諭 10.00  小学校長 6.06  計 37.05	<p>昭和60年採用以来、本道の教育に携わり、体験的な学習を中心とした生活科や総合的な学習の時間の実践などの研究及びカリキュラムの見直しを進め、児童の生きる力を育むことができるよう努めたほか、その実践を基に全道、全国の各種研究会で提言・助言を行った。</p> <p>また、ベルリン日本人国際学校への派遣後には、国際理解教育についても積極的に実践を進めた。歴任校では、地域との連携や小・中学校間の連携を行い、外国語の乗り入れ授業や、卒業生の協力を得て長期休業中のサポート学習などを実施した。このほか、小・中・高等学校英語教育支援事業を推進し、小学校から高校までのCAN-DOリストの作成など、校種間の円滑な接続を図るためのカリキュラム・マネジメントを行った。</p> <p>さらに、北海道小学校長会副会長や北海道生活科・総合的な学習教育連盟副委員長等の要職を務め、本道の教育振興に貢献した功績は誠に大である。</p>
厚沢部町立 厚沢部中学校長  たまき ひでき 玉置 英樹 (60歳)	北海道中学校長会 副会長  檜山管内中学校長会 会長  檜山管内社会科教育研 究会 会長	中学校教諭 15.00  中学校教諭 5.00  中学校長 10.06  計 30.06	<p>平成4年採用以来、地域の特色を生かした体験学習の実践やボランティア活動を通して、地域との連携を強化するなど、社会に開かれた学校づくりに尽力し、郷土に対する愛着や誇りを育む教育の充実を図った。</p> <p>江差町立江差中学校では、ICTを活用して、近隣町村の学校との遠隔授業を実施し、その成果やICTの活用推進について校長会で発信するなど、先進的な取組を進めた。現任校においては、「働き方改革事業」として校務支援システムやICT機器を積極的に活用し、自動採点システムの導入や会議資料のペーパーレス化などに取り組み、時間外勤務の短縮や教育活動の質の向上を目指した学校運営を行っている。</p> <p>さらに、北海道中学校長会副会長等の要職を務める等、本道の教育振興に貢献しており、その功績は誠に大である。</p>
留萌市立 留萌中学校長  ふじた のりちか 藤田 智哉 (59歳)	全日本中学校長会 理事  北海道中学校長会 副会長  留萌管内小中学校長会 会長  留萌地方算数数学教育 研究会 会長	中学校教諭 17.00  小学校教諭 3.00  中学校教諭 6.00  中学校長 9.06  計 35.06	<p>昭和62年採用以来、「子どもたちのために」を念頭に置き、教科指導、生徒指導等に取り組み、地域社会をたくましく担う人材の育成に努めた。</p> <p>平成31年度からの道徳の教科化に当たり、「考え、議論する道徳」の実現を目指した研究を推進するため、校内の現状分析・実態把握を基に、年間指導計画を作成するなど、教育活動全体の繋がりを意識した取組を行い、公開研究会で研究実践を発表するなど、研究成果の普及に努めた。</p> <p>また、小中連携による中1ギャップの未然防止を図るための生徒指導体制の構築や主体的・協働的に問題を解決する力を育む教育活動の推進等に取り組んだほか、生徒の実態に応じた教育活動の工夫と評価などのマネジメントサイクルを機能させる校内体制づくりに尽力した。</p> <p>さらに、全日本中学校長会理事や北海道中学校長会副会長などの要職を務め、本道の教育振興に貢献した功績は誠に大である。</p>

所属・職名 氏年 名 年 齢	主な役職歴	在職 年数	功績の内容
北見市立 三輪小学校長  かたぎり さとし 片桐 聡 (60歳)	北海道小学校長会 理事  オホーツク管内小中学校長会 会長  北海道生活科・総合的な学習教育連盟 副委員長  オホーツク管内学校づくり研究会 副会長	小学校教諭 17.00 小学校教頭 10.00 小学校長 9.06 計 36.06	昭和60年採用以来、本道の小学校教育に携わり、特に生活科、総合的な学習の時間の充実の研究・実践に力を注いだ。教頭の資質・能力向上のため、学校経営のストラテジー講座の講師・運営を務める一方、各種研修会の講師や学習指導の改善充実のためオホーツク管内公開研究会の開催など教員の授業力向上等に大きく貢献した。学校力向上に関する総合実践事業全道協議会では、指導方法工夫改善の実践発表を行い、評価されたほか、北海道教育委員会組織力強化会議アドバイザーとして、檜山・釧路管内において実践発表を行うなど、全道にその取組を発信した。さらに、北海道小学校長会理事や北海道生活科・総合的な学習教育連盟副委員長等の要職を務めるなど、本道の教育振興に貢献した功績は誠に大である。
網走市立 網走小学校長  よしだ まさひろ 吉田 昌広 (59歳)	北海道小学校長会 理事  オホーツク管内小中学校長会 会長  オホーツク管内学校づくり研究会 会長  網走管内国土教育研究会 副会長	小学校教諭 17.00 小学校教頭 5.00 市教育委員会指導室主幹 2.00 小学校長 10.06 教育局義務教育指導監 2.00 計 36.06	昭和61年採用以来、国語や道徳、生活科、総合的な学習の授業実践や研究に取り組み、教育研究団体や教育研修センター研究員等、数多くの公開研究会を通じて教育実践を発信した。歴任校では、「おやじの会」などの組織を創立し、PTA活動や運動会等の教育活動に多くの協力を得たほか、コミュニティ・スクール組織（PTCA）を充足するなど、地域に開かれた教育活動の展開に尽力した。また、北見市教育委員会指導室主幹として、小学校社会科副読本の編集や学習指導要領の解説・実践書を作成し研修会の開催、幼小連携会議などを通じて小1プロブレムの解消に努めた。このほか、留萌教育局義務教育指導監として、管内の各学校にオホーツク管内での実践を基に指導助言を行うなど、全道の教育推進に貢献した。さらに、北海道小学校長会理事やオホーツク管内小中学校長会会長等の要職を務め、本道の教育振興に貢献した功績は誠に大である。
帯広市立 帯広第二中学校長  ふじさき よしと 藤崎 禎人 (59歳)	北海道中学校長会 理事  帯広市校長会 会長  帯広市中学校長会 会長  帯広市教育研究会 副会長	中学校教諭 22.00 小学校教頭 6.00 中学校教頭 2.00 中学校長 7.06 計 37.06	昭和60年採用以来、本道の小・中学校教育に携わり、特に音楽教育において、進んで音楽を愛好しようとする児童生徒の育成に努めるとともに、長く吹奏楽部の指導を行い、帯広地区吹奏楽連盟の役員を務め、地域と連携した学校づくりに積極的に取り組むなど、本道の教育の充実発展に尽力した。中学校の教員であったが、教頭として2校小学校に着任し、複数の教職員での対応やケース会議の工夫など、中学校での生徒指導のノウハウを生かした組織的な生徒指導の体制づくりを心掛けた。また「いじめ・不登校・非行等に関する対策委員会」の委員長としても活動し、帯広市PTA連合会や市人権擁護委員協議会、帯広児童相談所など12組織から構成される委員を取りまとめ、関係機関と連携しながら、「いじめ・非行防止サミット」の開催やセミナーなどの活動を展開した。さらに、帯広市中学校長会会長、北海道中学校長会理事や帯広市校長会会長等の要職を務め、本道の教育振興に貢献した功績は誠に大である。

所属・職名 氏年 名 齢	主な役職歴	在職 年 数	功 績 の 内 容
釧路市立 幣舞中学校長  もとかわ けいいち 本川 敬一 (60歳)	北海道中学校長会 副会長  全日本中学校長会 監査  釧路市小中学校長会 会長  釧路算数数学教育研究 会 副会長	小学校教育 18.00  市教育委員会 指導主事 4.00  中学校教頭 6.00  市教育委員会 総括指導主事 3.00  小学校長 4.00  中学校長 1.06  計 36.06	<p>昭和61年採用以来、本道の小・中学校教育及び教育行政に携わり、各種指定事業や研究指定を活用して授業改善に励み、教員の授業力向上や児童生徒の学力向上に努めるとともに、コミュニティ・スクールの導入推進等を通じて、積極的に地域と連携し、社会に開かれた学校づくりを推進した。</p> <p>釧路市教育委員会指導主事として、フルブライトメモリアル基金による「マスターティーチャープログラム」の日米教育委員を務め、米国の学校を訪問し、環境を柱とした教育の共同研究を行い、帰国後は両国児童間のテレビ電話やメール等による環境教育の交流の基盤を作り上げた。</p> <p>また、釧路市立阿寒湖小学校では、令和3年度の義務教育学校の開校準備に当たって、新たに4-3-2のステージ制による教育課程を導入するなど、後世に引き継ぐ人づくりを目指した教育課程の編成に尽力し、小中連携の取組を公開研究会などで発表した。</p> <p>さらに、北海道中学校長会副会長等の要職を務め、本道の教育振興に貢献した功績は誠に大である。</p>

※ 年齢及び在職年数は、令和4年（2022年）9月30日現在